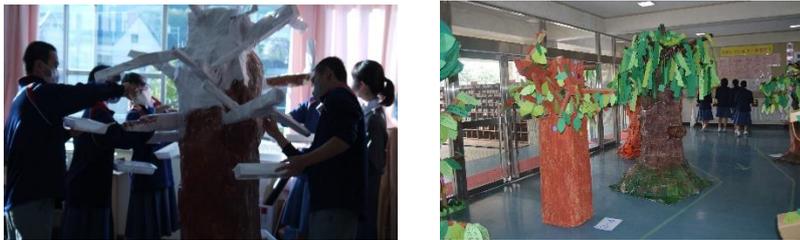


令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	海田町立海田中学校	校長	河北 光弘	担当者名	小田 一治
取組事例名		『文化祭～海中の森の製作を通して～』			
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり	
取組における育てたい資質・能力					
<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールアートに主体的に取り組むことによって，他者と力を合わせる大切さや協調性を育む。 ・クラスで作品を作ることを通して，自分の役割を全うする責任感，主体性，コミュニケーション能力を育成する。 					
取組のねらい					
<p>今年度は新型コロナウイルス感染防止ため，例年行っていた合唱祭が実施できなかった。その中でクラスごとに段ボールアートに取り組むことによって，他者と力を合わせる大切さ，また，クラス単位で作品を作ることによって，クラスの結束を図ったり，自分の役割を全うしたりする責任感を生徒に身に着けさせることねらいとした。</p>					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<p>各クラスで骨組みとなる木の幹，枝を決められたサイズの中で段ボールを用いて制作していく。次に適当な大きさにちぎったり切ったりした段ボールをのりやガムテープで骨組みに着けていく。画用紙を葉っぱの形に切ったものに1人2～3枚今回のテーマである「自分」「地域」「未来」を基にメッセージを書き，それを枝に貼り付けて一本の木にする。そして，完成した木を集めて展示発表する。</p>			<p>木の幹，枝に関しては細やかな指定はせず，クラスのオリジナリティに任せた。その結果，クラスの個性が十分に出て，素晴らしいものになった。</p> <p>また，今回の文化祭のテーマは「想い 自分を想う・地域を想う・未来を想う」であった。「自分」「地域」「未来」への生徒それぞれの思いが1本の木に集うように工夫した。また，各クラスの木を生徒玄関に集め，海中の森を作ることによって，学校としても一体感が高まるようにした。</p>		
					
取組の成果と課題					
<p>12月の全校生徒のアンケート「行事に積極的に取り組んだ」に肯定的に回答した生徒は91%であった。また，「委員会や係の仕事を，責任をもってやっています」に肯定的に回答した生徒は90%であった。この結果から，文化祭の取組は生徒にとって意義深く，生徒の主体性や責任感を育てるには有益であったと考えられる。</p> <p>また，文化祭の生徒の感想から段ボールアートの作成に関わって，クラスの結束が高まったと感じていたり，クラスメイトと協力したりして物をつくる達成感を感じた生徒が多かった。事実上，今年度の大きな学校行事は文化祭だけであったが，生徒にとっては思い出に残るものになった。また，3年生の作品は卒業証書授与式にも展示する予定である。</p>					